



令和7年12月定例議会一般質問抜粋

★ 放課後デイ「18歳の壁」

【質 問】

👤 重度の知的障害・発達障がい・強度行動障害のある方々が、放課後等デイサービス卒業対象年齢となる18歳を迎えた後の支援体制はどのようにするのか。

《市の答え》

・強度行動障害のある方への支援については、事業者への支援を「定住自立圏事業」として進められるよう、現在話し合いを進めています。
・重度の知的障害・発達障害のある方への支援についても、協議会等の関係機関と連携を図りながら支援を強化してまいります。

★ まちじゅう博物館構想

【質 問】

🏠 コアミュージアム（中核拠点）の魅力づくりのために、教育委員会・学芸員・観光担当が協力をすべきでは。

《市の答え》

これまでも連携して進めており、今後さらに連携を深めていく。

【質 問】

🌐 津山市が取得した日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）は、どのような効果が期待できるのか。

《市の答え》

ロゴの使用承諾を受けることで、世界的に注目されている「持続可能な観光」へ市が積極的に取り組んでいることを発信できます。これにより、津山の魅力が高まり、観光客の増加や地域経済の活性化が期待されます。また、この取組は観光庁の事業で補助金の加算や審査の加点にもつながるため、市にとって大きなメリットがあります。



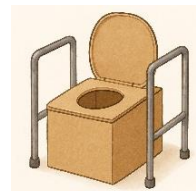
★ “命を守る備え”を

【質 問】

🚰 災害時の段ボールトイレを、高齢者・障がい者が安心して使えるように、簡易手すりなどを整備しては。

《市の答え》

不便を認識しており、環境改善を進める。



【質 問】

📻 防災ラジオの普及率9.46%という現状で、スマホが苦手な方へ情報を確実に届けるにはどうするのか。

《市の答え》

必要に応じて防災メールやアプリ操作の説明も行っていく。

★市独自で防災アプリを立ち上げる事を提案しました。

【質 問】

🚚 キッチンカー・物流・通信など民間団体との災害協定を広げては。

《市の答え》

現在75団体と協定を締結している。今後も必要な分野へ協力を呼びかけを拡大し、災害時に本当に必要な支援が届くよう、防災体制の一層の強化を図っていく。



💬 最後に

これからも、市民のみなさまの声をていねいに聞きながら、安心して暮らせる津山の実現に力を尽くしてまいります。